

おぢや 市議会だより

NO. 95

令和2. 1. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

県立小千谷西高校写真部渡辺淳斗さん撮影
令和元年度新潟県高等学校総合文化祭写真専門部展
優秀作品「丑三つ時」

本号より表紙画像を市内高校に通う写真部の皆さんに撮影していただきます。
初回ということもあり、本号はコンテスト入賞作品を掲載しました。
今後、若い感性で小千谷の人々や風景をどのように切り取るのか、
皆様、どうぞ楽しみにしてください。

- 第4回定例会議決結果 … P2~3
- 常任委員会報告 …… P3~4
- 一般質問 …… P4~8
- 行政視察報告 …… P8~9
- 議会日誌 …… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

明けましておめでとうございます



議長 田中 淳

皆さまにおかれましては、令和という新しい時代を迎え希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より小千谷市議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は改選期により新しい議員を迎えて、議会の活性化と透明性を堅持しながら、市民生活の向上につなげ、更に充実した議会運営に取り組んでまいりたいと考えております。

さて、昨年を振り返りますと、市内においては2年続けた酷暑による農作物への影響、そして10月の台風19号による農作物や河川を中心とした大きな被害に見舞われた年でもありました。

そしてせと踐祚により元号が平成から令和に移る過程で、歴史の証人として私たちは世界における日本の立ち位置、皇室の歴史、平和への誓いを深めることを学んだ年でもありました。

その後のラグビーワールドカップの大成は、日本人の魂と国民性を来訪者だけでなく映像を通して世界中の人々から愛され、日本文化と相まって憧憬された賜物であり、日本の新たな夜明けを告げる意味からも、今でもあの感動を禁じ得ることができません。

今年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックが、その4年後の大阪で万国博覧会の開催と文化と歴史が大きく動く情勢を、小千谷市のオリジナリティーをどうアピールしていくのか、少しでも明るい兆しが届けられるよう議会としても出来る限り取り組んでいく所存です。市民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

第4回定例会 議決結果 (11月29日から12月20日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
議案第96号	小千谷市課設置条例の一部改正	全会一致	原案可決
議案第97号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	賛成多数	〃
議案第98号	小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正	〃	〃
議案第99号	小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正	全会一致	〃
議案第100号	小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	〃	〃
議案第101号	小千谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定	賛成多数	〃
議案第102号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃	〃
議案第103号	小千谷市中越大震災メモリアル基金条例の制定	全会一致	〃
議案第104号	小千谷市手数料条例の一部改正	〃	〃
議案第105号	小千谷市シルバーワークプラザ条例の廃止	〃	〃
議案第106号	小千谷市予防接種健康被害調査委員会条例の一部改正	〃	〃
議案第107号	小千谷市水道条例の一部改正	〃	〃
議案第119号	小千谷市印鑑条例の一部改正	〃	〃
議案第108号	令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)	〃	〃
議案第109号	令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第110号	令和元年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第111号	令和元年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第112号	令和元年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第113号	令和元年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第114号	令和元年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第115号	令和元年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第95号	専決処分(令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第3号))	〃	承認
議案第116号	財産の処分〔小千谷市シルバーワークプラザ〕	〃	原案可決
議案第117号	人権擁護委員候補者の推薦〔木村民子氏〕	〃	同意
議案第120号	人権擁護委員候補者の推薦〔樋口敏晴氏〕	〃	同意
議案第118号	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更	〃	原案可決
選挙	議会選第7号 小千谷市選挙管理委員及び同補充員の選挙 〔選挙管理委員:勝又武氏、小野塚朋子氏、今井隆夫氏、瀬賀三千子氏〕 〔選挙管理委員補充員:新保賢氏、丸山君子氏、関和幸氏、金子克之氏〕		当選

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
発 議	発議案第4号	天皇陛下御即位を祝す賀詞に関する決議	賛成多数 原案可決
	発議案第5号	令和元年台風第19号による被害への対策を求める意見書	全会一致 //
	発議案第6号	小千谷市の地域医療を守ることを求める意見書	// //
	発議案第7号	小千谷市議会委員会条例の一部改正	// //
	発議案第8号	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	// //
請 願	請 願 第 4 号	「骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書」の採択に関する請願	みなし 採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛
議案第97号	原案可決	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	-	○	○
議案第98号	原案可決	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	-	○	○
議案第101号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
議案第102号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	○	○
発議案第4号	原案可決	14	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	-	○	○

※○は賛成、×は反対、議長(田中淳)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案17件について、16件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案17件全て原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第96号 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、「健康こどもプラザ」開設に伴い、行政組織の再編を行うものです。

○議案第97号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、令和元年の人事院勧告に基づく国家公務員の特別職の職員の給与に関する法律の改正に準じ、議員の期末手当の支給率を上げるものです。

○議案第98号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、議案第97号と同様に人事院勧告に基づく特別職の職員の給与に関する法律の改正に準じ、議員の期末手当の支給率を上げるものです。

○議案第99号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 ○議案第100号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 以上の2議案は、国の人事院勧告に基づき小千谷市職員及び一般職の任期付職員の給与等の改定を行うものです。
 ○議案第101号 小千谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について
 本案は、地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、従来の臨時・非常勤職員に関する制度に代わるものとして制定するものです。
 ○議案第102号 会計年度任用職員制度導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 本案は、小千谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定に伴い、関係条例の整理をするための条例制定です。
 ○議案第103号 小千谷市中

員の給与に関する法律の改正に準じ、市長、副市長並びに教育長の期末手当の支給率を上げるものです。

○議案第99号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第100号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第101号 小千谷市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について

○議案第102号 会計年度任用職員制度導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

○議案第103号 小千谷市中

越地震災メモリアル基金条例の制定について
 本案は、中越地震復興基金交付金が当市に分配されることにより、基金の設置及び管理等に関する事項を定める条例を制定するものです。

○議案第104号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、証明書コンビニ交付サービス開始に伴い、手数料の免除を適用しない規定を追加するものです。

○議案第107号 小千谷市水道条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、新浄水場供用開始等に伴い、厳しい財政状況となる水道事業の経営健全化を図るため、36年ぶりに水道料金の改定を行うものです。

○議案第108号 令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)について
 本案は、中越地震復興基金交付金を活用して新たに造成する基金への積立金の計上、旧小千谷総合病院跡地活用事業に係る物件補償料の増額、給与改定及び人事異動等に伴う人件費の増減などのほか緊急を要する経

費について補正を行うものです。

○議案第112号 令和元年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について

○議案第113号 令和元年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第114号 令和元年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第115号 令和元年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

以上の4議案は、企業会計において、主に職員の給与改定及び人事異動等に伴う人件費の補正を行うものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案5件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第105号 小千谷市シルバーワークプラザ条例を廃止する条例の制定について

本案は、小千谷市シルバーワークプラザの公の施設としての用途を廃止することに伴い、条例を廃止するものです。

○議案第106号 小千谷市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、小千谷市設置条例の一部改正に伴う改正です。

○議案第109号 令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は、給与改定及び人事異動等に伴う人件費の補正です。

○議案第110号 令和元年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

本案は、給与改定及び人事異動等に伴う人件費、第1号被保険者保険料還付金の増額について

ての補正です。

○議案第111号 令和元年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

本案は、給与改定及び人事異動等に伴う人件費、後期高齢者医療広域連合納付金の増額についての補正です。

○請願第4号 「骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書」の採択に関する請願について

本請願は、企業等の取り組みを促進するための方策を講ずるとともに、ドナー休暇の制度化についても検討すること。ドナーが、休業する場合の補償制度の創設について検討することを求める意見書を国の関係機関に提出いただきたいというものです。

本会議をインターネット中継しています

本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、概ね1週間前には、録画映像も配信しています。また、会議録も市ホームページで閲覧できます。一般質問等の詳細は「会議録の閲覧と検索」をご利用ください。(令和元年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。)スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>

市政の内容を聞く

一般質問

幼児教育・保育無償化の対応について

佐藤 隆一 議員

質問 10月25日の広報で、なぜ無償化の内容を知らせなかったのですか。また、市民から問い合わせはなかったのですか。

答弁 8月25日号で制度概要と手続きをお知らせし、問い合わせのあった方々には詳しく説明しています。

質問 無償化制度の対象施設とその内容についてお聞きします。

答弁 市内の保育園児、認定子ども園の園児と幼稚園児、保育の必要性のある預かり保育児童は対象となります。但し、延長保育、通園の送迎費、食材料費、行事費などは対象となりません。さらに、入園していない児童の一時預かり、ファミリーサポーターセンター、病児・病後児保育は無料ですが、一旦保護者が支払い、後で払い戻す償還払いとなります。

質問 新制度で保護者や自治体の負担が増えることはないのですか。

答弁 新制度では、保育園と認定子ども園利用者負担の減収で市の負担は増えます。保護者の負担が増えることはありません。自治体や利用者にとって本当に必要なとされる無償化を国に要望すべきではないですか。また、試算はしていないのでしょうか。

質問 現在までの稼働状況で不具合の発生や故障対応はどのようになされているのか。



新浄水場の維持管理と料金改定について

上村 行雄 議員

質問 現在までの稼働状況で不具合の発生や故障対応はどのようになされているのか。

答弁 試運転等を経て本格稼働をして行く中でいくつかの不具合が見つかり、その都度施工業者と適切に対応してきた。また工事引渡し後2年間は保証期間とし施工業者における責任対応としている。

質問 無人化への見極め時期と実施はいつ頃までに目途をつけるのか。

答弁 供用開始初年度である今年度は、安全や安定的な運転実績を積み重ねる期間であり、来年度に実績・経験を踏まえ移行時期を見極めたい。

質問 当該地区に避難勧告が出された場合の職員の対応などは周知徹底されているのか。

答弁 これまで浄水場やガス水道局舎への信濃川の洪水を想定したマニュアルは作成していなかった。台風19号の事例を教訓として職員及び施設に対する具体的な対応を決めて行く。

質問 施設の浸水対策はされているのか。また不可抗力により稼働停止になった場合の想定と対応はどのようにされるのか。

答弁 特別な浸水対策は施していないが建物は強固な構造であり、運転に必要な電気制御機器類は2階に設置し停電時などは非常用発電機が自動で作動する。また市内には約20か所に配水池があり貯水容量により直ちに給

水停止にはならない。
質問 来年度のみならず5年後の値上げは必要になるのか。そして今後の水道事業についてどのように維持して行くのか。

答弁 料金設定の妥当制については検証の必要があるが5年後の値上げは前提としていない。今後も安全で強靱な水道を維持していくため詳細を見極めてまいりたい。

小千谷総合病院、福祉 タクシー券緩和

内山 博志 議員

質問 厚生労働省による突然の公的病院等の再編・統合検討に小千谷総合病院の名前が公表され、市民に大きな不安を与えた地域で重要な役割を担う病院だ。国は病床数を削減し、医療費を減らす方針だが市長は、この方針に異を唱え、地域医療を守る意思表示をすべきでは。

答弁 全国一律の基準で機械的に選定されたもので現実的な役割が考慮されていない。地域医療推進協議会で今後も地域医療の維持存続のため小千谷総合病院の重要性、必要性を訴えていく。
質問 認知症リスク低減に効果のある補聴器購入補助を検討す

べきではないか。認知症発症のリスク1番に難聴が上げられている。他の自治体でも補助が広がってきている。

答弁 補聴器使用による認知症予防の可能性は認識している。補聴器を使わない理由の上位にわずらわしい、元の聞こえに戻らないなどがある。現段階での補助は考えていないが予防効果について情報収集していく。

質問 障がい者の社会参加を広げるため、福祉タクシー利用要件緩和を障がい3級以外や免許返納者なども検討を。

答弁 これまで福祉タクシー利用料金助成は拡大してきた。重度心身障がい者に対するものと考えており、利用範囲を広げることが考えていない。

質問 妊産婦医療費助成制度が創設され半年で利用者は1名となっている。所得制限無しでも数百万で拡充は可能。少子化対策としてやるべきではないか。

答弁 低所得世帯を助成するのが目的。当面考えていない。

総合計画後期基本 計画の策定について

山賀 一雄 議員

質問 総合計画審議会への諮問には、市長が目指すまちづくり

の姿勢、思いがないのは何故か。
答弁 市長選挙において公約とした5つの柱は、基本目標の主要項目に含まれており、公約の実現にも通じる内容で答申があると期待している。

質問 分野別施策の実施状況の検証・評価はどうか。
答弁 基本方針ごとに数値目標を定め、毎年度、達成度を検証し、ホームページで公表。

質問 総合計画審議会の審議を含めた計画策定スケジュールは。
答弁 市民意向調査を8月に実施し、この調査結果や各部署からの報告をもとに後期基本計画の内容審査を行い、令和2年10月までに答申される予定である。

質問 分野別施策において、地域の実情、輸送需要に合わせたバス路線の見直しは、どう考えるのか。
答弁 利用者の需要と運行経費、乗車率などを基に、最小の経費で最大の効果を得るよう見直しを行う。

質問 国の地方財政政策、県の財政危機などの影響をどう捉えているか。
答弁 地方交付税総額の抑制圧力により、地方の一般財源確保が懸念される。また、県の行財政改革行動計画に関しては、合理的な見直しが行われないよう市長会、知事との協議の場にお

いて、しっかりと意見を伝える。
質問 西脇順三郎の顕彰について
教育長答弁 郷土の偉人である西脇順三郎の顕彰は必要なことであり、令和5年度開館予定の複合施設で、西脇順三郎の業績を学び、かつ、展示方法、施設構成などソフト事業を優先させたい。

中学校におけるフッ化 物洗口、国土調査事業

阿部 守男 議員

質問 第2大白歯の萌出時期である中学校においてフッ化物洗口がなぜ行われなかったのか。
教育長答弁 昭和51年度に全小

学校で、平成9年度に全保育園で取り組みを始めた経緯があります。中学校の実施については、検討の確認が出来ず、なぜ行われなかったのかについては確かなことはわかりません。

質問 フッ化物洗口の費用、学校現場がどのようにみているのか、今後の取り組み予定について。
教育長答弁 小学校における平成30年度の費用は約40万円。中学校で実施する場合は、生徒数からみてその約半分の費用と考えられる。学校現場では、むしろ罹患率の低さからフッ化物洗口に取り組みむ必要性は低いとい

う見解でいる。現段階では中学校におけるフッ化物洗口を導入する予定はないが、歯科医師会など専門家の意見を聞き、今後歯や口腔の健康づくりに取り組む。

質問 国土調査事業の進捗状況について。

答弁 国土調査の実施地区については、より投資効果の大きい市街地を優先し、投資効果の内容は登記手続きの簡素化、費用縮減、土地の有効活用の促進、土地取引の円滑化、行政事務の効率化である。大字山本川原地区は地権者数、土地の異動件数も限られるため、調査に着手していない。進捗状況は平成30年度末時点で、換算面積38.84平方キロメートル、進捗率で26.35パーセントである。

当市の防災と農政の課題について

長谷川有理 議員

台風19号災害における防災課題
質問 避難行動要支援者名簿の活用や災害時要配慮者の避難支援に責任をもった市の取り組みを。福祉避難所の機能発揮を。

答弁 毎年名簿を更新し関係機関に配布。今回避難支援活動に問題の声は聞いてない。一次福

祉避難所の総合体育館等から二次福祉避難所への移送は必要とする人がいなく行わなかった。

質問 福祉避難所の対象者が福祉避難所に避難できるように、平常時からの現況把握や当事者への周知、当事者を含む地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センター等との連携や役割の明確化が必要ではないか。

答弁 名簿登録を働きかけた。避難行動要支援者はそのすべてが二次福祉避難所に避難する対象ではない。まずは一次避難所へ、そこから選定し二次避難所に誘導する。対象者を特定して把握していない。個別の支援計画作成は平常時に要支援者から主防災会等が意見を聞き進めている。二次避難所は周知しない。

質問 誰もが避難しやすいよう避難所等のバリアフリー化を。

答弁 小千谷市町内集会所施設等整備事業補助金活用や指定避難所は年次計画として対応する。農家収入大幅低下の一等米比率対策支援の強化を行うべき。

質問 当市の農家収入の減額は。総額で1億7千万円程度。

答弁 分析や対策が不十分では。県の研究会分析や新潟米振興部会と連携して市も対応。当市の有機農業を応援し小千谷農業のブランド強化を図るべき。

質問 体系的支援が必要では。

答弁 現在市内で3名が有機農業に取り組み。学校給食等で活用できないか検討はしたい。



おぢや米ブランドの確立へ!

厚生連小千谷総合病院の再編・統合について

吉崎 進 議員

質問 統合に関して、お骨折りいただいた大塚市長はどのようなに思っているのか。

答弁 医療を取り巻く全国的な課題に、いち早く対応する形で、市内にあった2つの病院を再編統合した病院であり、現在小千谷市内はもとより近隣地域の地域医療を支える極めて重要な医療機関と考えている。

質問 平成29年6月の診療実績が乏しいことについて。

答弁 今回は6月の診療実績に基づき、全国一律の基準による分析で機械的に選定されたと聞いている。6月といえは、新病院オープン後間もない時期で統合

によるスタッフの融和やシステムへの慣れ、何よりも患者の安全安心を優先して運営していた、いわゆるならし運転と言っても良い時期である。その1カ月分のデータをもって判断されたのは心外であり、これまで果たしてきた地域での極めて大きな役割や積雪地という条件などは全がしるにした評価と感じている。

質問 医師の偏在化、いわゆる地方の医師不足について。

答弁 小千谷総合病院は、日頃から新潟大学医学部に対し医師派遣を粘り強く働きかけていると聞いている。また、わたくし自身も、県の医師・看護職員確保対策課や新潟大学医学部に出向き、小千谷総合病院の医師確保について働きかけを行っている。また、当市を含む県内六市長で「地域医療連携推進協議会」を組織し、地域医療の維持・存続のための政策提言などの働きかけを行っている。



市街地活性化、観光施策、あすえーるについて

森本恵理子 議員

市街地活性化について

質問 市街地活性化を考えると、新図書館を核とした建物を建設するという点の投入だけではなく、街づくりという意味でも主体性をもって民間に働きかけるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 起爆剤と捉え民間が事業を進めるなど、行政と民間が役割を果たしていくべきと考える。錦鯉を核に据えた観光施策による当市の活性化について

質問 錦鯉の里のリニューアル、より水族館に近い形である「錦鯉ミュージアム」建設の重要性の認識と時期について伺う。

答弁 施設誘致、整備構想及び計画について、財政的な裏付けも踏まえた長期的視点により研究が必要であり、時期は不明。健康・こどもプラザ「あすえーる」について

質問 病児保育スペースを2階に設置し、階段を利用するという構造になっているが病児を抱えた利用者に寄り添った形になっていないのでは。隔離の必要性はあったとしても利用しやすさを優先すべき。利用者の声が高

まればエレベーターの設置や部屋の変更等ありうるのか伺う。

答弁 病児病後児に対する安静や隔離などの必要性を踏まえ、2階の配置とした。事前予約が原則であり、インターホンでの呼び出しで玄関まで迎えに行くなどの対応を予定している。そのため、エレベーターの設置、部屋の変更等は考えていない。

質問 小千谷の未来を担う子どもたちが利用することから錦鯉のイラストを利用したり、ぬいぐるみを置くなどしてはどうか。
答弁 錦鯉に限定せず遊びやすい玩具などを揃えたい。



人材育成・交流事業推進について

平澤 智 議員

質問 現代にあった形でのかつて当市で実施した赤城セミナーのような合宿セミナー的な人材育成のあり方をいま一度検討し

10年後20年後の小千谷市を背負って行く人材を育てていく必要があると考えますが、第五次総合計画において、人を育み文化の香るまちづくりの項目で人づくり、地域づくりに貢献できるリーダーやボランティアの育成が必要と謳われていることに関して、現時点での検証と評価について。

教育長答弁 地域づくりに貢献できるリーダーやボランティアの育成の為、平成29・30年におぢやを支える次世代人材育成事業を行い、20代から40代を対象に「オモシロ×マジメに学び、話す会、創る会」を開催し、延べ100名ほどの参加がありました。この企画では、自分自身や地元の将来のこと、自分たちがやりたいことなどを話し合ったり、実際にイベントを開催するなかで、リーダーに必要な要素などを身に付けるように実施しました。

質問 地域づくりに貢献できる人材の育成についての当市の基本的な考え方と具体的な方策について、例えば今後赤城セミナーのような次世代リーダー育成セミナーを開催する計画はありますか。

教育長答弁 今年度は高校生の社会参加を促す事業に取り組みました。地域課題の解決に向け

た人づくりや地域づくりに貢献できるリーダーやボランティアの育成は必要と考えておりますので、リーダー育成セミナーなどの開催方法やプログラムについて市民参画を促しながら、市民協働の視点で取り組んでまいりたいと考えております。



乳児用液体ミルクの備蓄、動物愛護施策

久保田陽一 議員

質問 小千谷市でも他自治体に遅れることなく備蓄が必要では

答弁 災害の初期対応用として液体ミルクを使用できるよう試験的に備蓄する考えである。

質問 あすえくるでの乳児用液体ミルクの備蓄こそが防災・子育て支援の一助になるのでは。

答弁 災害時における救護所機能としての位置づけも踏まえ、備蓄品の一つとして試験的に設置したいと考えている。

質問 動物愛護に対する見解は、
答弁 人と動物が共生することの意義は理解している。ペット

はもちろん野生動物も含め地球上の一員として授かった命の重さは等しいものであり、大切に

していくべきと考えている。また、動物を飼育する場合は、飼育者として命を預かる責任を伴うことを深く考えていただきたい。

質問 猫の不妊・去勢手術等に関するチラシの配布やホームページでの情報提供などの啓発活動を積極的に行うべきでは。
答弁 今後はホームページも活用し、啓発活動に取り組んでまいります。

質問 県や団体の手術費助成に小千谷市として上乗せ補助をすべきでは。
答弁 当市としては、制度の仕組みとして県の助成金に上乗せする補助は考えていないが、制度の周知に努めていく。

質問 あらかじめペットの同行避難可能な避難所を指定しておき周知すべきではないか。
答弁 避難所運営マニュアルにあるように、一定のルールにより対応する。避難所での生活が長引いた時は、状況に応じて、動物愛護団体等とも協議し対応したい。



救急活動・高齢者のゴミ出し・活動人口

住安 康一 議員

質問 片貝地域での救急車の到着時間は長岡消防署越路出張所から来たほうが、はるかに早い。消火活動においては覚書を交わし、市という枠を超えての活動が一部可能。命に係わる救急活動においてもいち早く駆け付けられる体制をとるべき。
答弁 当市の救急力を超える事案が発生した場合には相互応援体制により対応。国、県が進める「消防の広域化」、「指令業務の共同運用」等については、県、近隣消防本部間で検討、協議しているが、合意に至っていない。



質問 高齢者のゴミ出し支援について。
答弁 支援はまずは家族や親族が責任を持ち対応。できない場合は、近所や地域の方、民生委員、介護認定者の方であればケアマネージャー、地域包括センターと行政が相互に連携、協力する体制により対応する。

質問 高齢ドライバー事故対策

としての後付け安全装置について、補助制度を設けるべき。

答弁 現時点では市の補助制度は設けず、国の補正予算に盛り込まれている事業としての補助制度化の動きを注視する。

質問 活動人口増加の取り組みを推進し、地域の担い手の育成を進めるうえでシビックプライドの醸成が非常に重要。見解は。

答弁 住民が自分の住むまちに誇りと愛着を持ち、より良いまちにするために、自らが地域活動や市政に当事者意識を持って関わっていくことは、まちづくりに欠かせなく、人口減少が進む中で、重要性が一層高まる。

第五次総合計画の基本構想に基本目標を掲げ、市民協働のまちづくりを推進している。

SDGs、シティ・プロモーション

駒井 和彦 議員

質問 SDGsの達成に向けた自治体の役割について。

答弁 SDGsの目標達成の役割を担う一員である。

質問 総合計画後期基本計画及び総合戦略策定、また、分野別個別計画にもSDGsの理念を導入し、共通の目的とすべきと考えるが。

答弁 それぞれの計画目標を達成することが、SDGsの目標達成に繋がるものと考えられる。

質問 SDGsにある自分たちが出したゴミでさえ、自分たちで処理しきれない現状認識を伺う。

答弁 クリーンスポット大原では現状、埋め立て容量が少なく、一部の汚泥以外は埋め立てできない。新処分場建設について、今後検討を進める。

質問 シティプロモーションの効果を上げるため、全庁あげて戦略的に取り組んではどうか。

答弁 第五次総合計画に掲げる目標達成のために、全庁的に取り組んでいるので、シティプロモーションのための計画や戦略を作成する考えはない。

質問 国魚の動きを加速させ、当市を全世界にPRするため、「平和」を強調していくべき。

答弁 今後、広報誌、ホームページ、SNS、パンフレット、観光リーフレット等、リニューアルや増刷の際、考えていく。

質問 観光プロモーション推進のため、行政と密接に連携する観光協会、産業開発センター、おぢやファンクラブを一つの組



織にすべき。
答弁 先方の議論が先であり、且つ、市の組織でないため、この場の言及は不適切と考える。

行政視察 報告

総務文教委員会

令和元年10月16日～18日

生涯学習センター整備運営事業について

北海道室蘭市

生涯学習センター整備にあたり市民の意見集約方法として、ワークシopp、意見交換会、アンケート等を実施し、それを反映して施設の整備を行った。実際に運営していく中での新たな発見、展開等を学ぶため視察した。

1階にあるキッズパークは子ども1人200円同伴者無料という市の施設としては珍しい有料施設ではある。これは有料でも清潔で安心な施設にしてほしいとの要望からで、その結果施設の乱用防止効果もあると感じた。他にカフェの運営を地元有名店のコーヒー自販機と軽食自

販機にし、軽運動施設の利用等当初想定していた運営状況とは違う状況も生まれてきているとのこと。余剰地活用事業の敷地内での民間宿泊施設との共存状態について現状を知ることができ、有意義な視察であった。

移住定住促進の取り組みについて

北海道旭川市

北海道エリアで「住みたい田舎」2年連続ランキング1位である旭川市の移住定住事業を学び、同じ雪国として当市の移住定住促進につなげるために視察を行った。

北海道の自治体の中でも移住希望が多く雪国のアクティビティ溢れる環境である旭川市においても移住交流促進に苦闘しており、市職員の採用をも交流人口増加の一環として他県会場での採用試験実施を行うなど工夫している。また、人口減や公共交通網の縮小に伴い、病院施設が充実している旭川市に周辺地域からの年配者の人口流入があるが若者や労働人口増の増加にはつながっていない。移住希望者にはモデルプランではなくソーシャルプランナーから個別のソーシャルプランを立ててもらい、移住後の生活・経済状況を

把握する後押しをし、首都圏との違いを明確化し、移住者の目線で魅力をアピールしている。
移住促進協議会、転入者の会や交流会の実現、移住生活体験住宅の利用、oneday job tourの開催など精力的な動きの中、担当する地域振興部の課ができて4年目とのこと。スピーディーに動ける仕組みを目指し奮闘する姿勢に当市における可能性を感じた。

スポーツ合宿によるまちづくりと「学びの郷」について

北海道深川市

学びと集いの郷「エフパシオ」は廃校になった中学校の再利用ということで校舎を改修した施設である。改修するにあたり、スポーツ合宿での利用を基本とした想定に基づき、多くの知恵や工夫がされていると感じた。例えば、トレーニングルームの設置やその内容について、実際に合宿で使った際に聞いた意見をもとに器具を揃えたり、浴槽もアイシングに対応したものを用意する等多くの意見を参考にし、使い勝手が良いものになっている。市内にある競技場ともアクセスが良く、利用しやすい環境である。また、田んぼの中の施設ということから特別な防

音対策をしなくても体育館はそのままでよさこいや音楽の合宿等でも利用ができることも地の利を活かした考え方だと思ふ。

あるものを有効利用し目的を明確にして開発を進める。理想的な再開発だと感じた。



民生産業委員会

令和元年10月28日～30日

生活困窮者自立支援相談事業について

北海道小樽市

生活困窮者自立支援事業は、平成27年に窓口を開設し、自治体と社会福祉協議会、民間事業者の三者が強みを生かしながら運営にあたっている。

必須事業の住居確保給付金支援事業、自立相談支援・支援計画策定を行い、また、任意事業

の子供の学習・生活支援事業は7～8人からスタートし30人へ拡大し、貧困対策としても重要となっている。

課題としては、所属組織の違いや人事異動に伴う意識の違いなどから生ずる相互の連携不足があり、日々の事業改善を通じて市民にとって利用しやすい事業運営が行われており、市長の公約でもある相談支援と就労支援を一体的に実施することを目指した事業展開が行われている。予算の制約という課題がある中で、今後の当市での事業展開に大変参考になった。

農業担い手育成センターによる新規就農支援事業について

北海道富良野市

新規就農者が独立するにあたり、技術面の指導や初期投資資金及び運転資金、優良農地の確保等、充実した支援内容で、特に資金面の負担をなくすため、ビニールハウスを5年間無償リース後に譲渡する支援や、就農地を一旦貸借した後に取得してもらうことで、投資のタイミングをずらしている。更に、2年目からの農家研修や3年目からの模擬経営研修で独立後の投資資金や運転資金が溜まる制度設計等、新規就農希望者の参入

障壁打破に有効な支援も盛り込み、独立して経営が安定するまで寄り添っていく市の支援体制にも感銘を受けた。単に新規就農者の増加を図るのではなく、良好な新規就農者の増加のため、厳格な資格審査も実施しており、中には、売上が一億を超え純利益は35%になる人もいるという。北海道という広大な大地、規模、収益もスケールの違いはあるが、良好な新規就農者が一人でも多く当市に存在できるように、今視察を参考にしたい。



議会運営委員会

令和元年10月24日～25日

議会報告会の取り組みについて

埼玉県鶴ヶ島市

平成20年に初めて開催してか

ら本年で13回目の開催を終え、その間試行錯誤しながら様々な議会報告会のスタイルを試みてきている。鶴ヶ島市議会が歩んだ議会報告会の過程の中で、これから実施しようとする私たちが学ぶべき点や参考にすべきことは多くあった。

市民が議案に対する審議結果の報告をあまり求めていないことから、議会報告会では、議会の仕組み等の説明の後、議会内容の報告スタイルから市民との懇談会スタイルに変更して開催している。また、議会報告会や意見交換会の中での要望や提案などの扱いについては、参考にしして一般質問につなげ、特に重要と思われる事項に関しては議会内で議論し、市長へ政策提言をしている。また、相手を絞ってテーマを決め、事前打ち合わせをしっかりと行い、懇談会や意見交換会を実施するほうが議会としての政策提言につながる場合が多いなどのアドバイスもあった。私たちが実施する場合においても、参考にしたい。

意見交換会の取り組みについて

埼玉県富士見市

富士見市では平成23年に議会基本条例を制定し、年1回以上

の議会報告会の開催を規定しております。我々市議会が取り組んでいる議会改革推進の観点よりその実施内容について視察を行いました。

主に決算報告がテーマであった内容から検証作業を重ね、市政全般にわたる意見交換会に変更するなど、常にPDCAサイクルを意識している点や、出された意見や課題についての情報の伝達や共有など、市民ニーズに応える体制が確立されている点は大変有益と考えます。

今年度より小千谷市議会基本条例が施行され、議会報告会や意見交換会を設けることが規定されています。市民と意見のキャッチボールなど、常に市民目線で物事を捉え、また考え、市民生活の豊かさや行政サービスのあり方などを意識し利便性の向上に繋げたいと感じました。



13日	発（東京都町田市） 福島県喜多方市議会行政 視察に来市
14日	議員協議会
19日	中越地区市議会議長会 （十日町市）
20日	東京都西東京市行政視察 に来市
22日	北海道富良野市議会行政 視察に来市
27日	宮城県東松島市議会行政 視察に来市
29日	議会運営委員会 第4回定例会（本会議）
29日	栃木県真岡市議会行政視 察に来市
28日	民生産業委員会行政視察 に出発（北海道小樽市、 富良野市）
24日	議会改革推進委員会 に出発（埼玉県鶴ヶ島市、 富士見市）
21日	議会改革推進委員会
21日	総務文教委員会行政視察 に出発（北海道室蘭市、 旭川市、深川市）
16日	岩手県八幡平市議会行政 視察に来市
10日	広聴広報委員会
7日	市議会議員と商工会議所 女性会との懇談会
4日	広聴広報委員会
2日	公明党、水明会、黎明ク ラブ行政視察に出発（石 川県輪島市、かほく市）
1日	東京都武蔵村山市議会行 政視察に来市
12日	新政クラブ行政視察に出
11月	健康・こどもプラザ視察
1日	民生産業委員協議会
18日	本会議（第2日）
17日	本会議（第3日）
17日	本会議（第4日）
18日	民生産業委員会
20日	議会運営委員会
25日	議会改革推進委員会

あけましておめでとうござ
います。

昨年4月より議会基本条例
が施行され、広聴広報の機能
充実の一つとして、「市議会だ
より」の充実に取り組んでい
ます。

今回より、「市議会だより」
の一部をリニューアルしまし
た。表紙の写真は市内の高校
にお願いし、今回は小千谷西
高等学校写真部に提供してい
ただきました。今後も工夫と
改善を重ね、皆さんからより
手に取り見ていただけるよう
にしていきたいと思います。

昨年12月議会では、一般
質問においては、12人が市長
と論戦を交わし、また、発議
案5件を可決、請願1件を採
択し充実した議会となりました。
また、南小学校と吉谷小
学校の生徒が傍聴に訪れ、真
剣に聴いていました。どのよ
うな感想を持ったのか、非常
に興味深いところです。多く
の方に来ていただける議会に
していきたいと思えます。本
年も、よろしく願います。

編集委員 住安 康一

市議会を傍聴して
みませんか

第1回定例会開催予定

- 2月26日(水) 第1日 議案上程説明
- 2月27日(木)～3月5日(木) 各常任委員会で審査
- 3月16日(月) 第2日 一般質問
- 3月17日(火) 予備日 一般質問(質問者
が多い場合に開催)
- 3月19日(木) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合が
あります。各委員会の日程、
団体での議会傍聴については
議会事務局(TEL83-3505)
へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、
あらかじめ議会事務局へお
申し出ください。



77



宮崎 正輝
(吉谷 滝谷)

私は市内で小さな学習塾を
やっています。春、フキノトウ
が土を破って芽を出す頃、13回
目の卒業生を送り出します。

高校入試は子ども達が人生で
経験する初めての大きな壁です。
特に近年は公立の進学校を中心
に高倍率化が進んでいます。そ
の壁を前に心が折れてしまいそ
うな子ども当然のことと思いま
す。そんな中で、今春大学を卒
業するある女の子のお話です。
その子は長岡にある進学校を

志望していました。その高校は
倍率1.5倍。120人が不合格
になるという近年まれに見る高
倍率でした。入試2週間前の倍
率発表があった日の授業後。予
想以上の数字に驚いた私は、そ
の子に志願変更をするのかをた
ずねました。するとその子は言
いました。
「親も心配して志願変更をしな
さいって言うかもだけど私は絶
対しない。だって私はずっとその
高校に行きたかったんだもん。」
結果はどうあれ、目の前の壁
に全力で真っ正面から立ち向
かっていくこと。高校入試は教
科の学習もそうですが、これか
ら生きていく上で大切な事の1
つを私たちに教えてくれるのか
もしれません。
そして私は今、受験生と共に
雪下のフキノトウのような毎日
を過ごしています。春になれば
吉谷の山は、今年もたくさん
フキノトウが出ることでしょ